



多摩市立瓜生小学校

# 瓜生小だより

令和5年度 第1号  
令和5年 4月6日

## 今年度もよろしくお願ひいたします

校長 水野裕司

今年の3月は例年より桜の開花が早く、始業式と入学式が行われた6日には、永山さくら通りの鮮やかなピンクのトンネルが新緑のまぶしいトンネルになってしまいました。

さて、WBCが日本の優勝で幕を閉じました。3月の卒業式では、ダルビッシュ選手が試合前のインタビューで話していた「試合の結果を自分でコントロールすることはできないけど、準備を万全にすることは、自分でできる。だから、悔いのない準備をしたい。」という言葉を通して、「目の前にある課題に全力で挑戦する」ことの大切さについて話をしました。

在校生も1つずつ学年があがり、新しい課題がたくさん出てきます。児童が主体的に一つ一つの課題に確実に取り組み、確かな力を身に付けられるよう、教職員一同、力を合わせて頑張っていますので、よろしくお願ひいたします。

さて社会全体では、新型コロナへの対応が緩和され、3月13日からマスクの着用が個人の判断となりました。学校でも、4月からマスクの着用等、感染症への対応が変わりますので、お知らせします。

- マスクの着用は、求めません。個人の判断となりますので、各ご家庭でお子さんと相談してください。(調理実習、給食当番等、衛生上必要な場面では、着用を指導します。一方、運動中等、熱中症の危険がある場合には、マスクを外す指導をする場合があります。)
- 合唱の練習は、前後1m、左右50cmの間隔を確保して行います。
- 健康観察表による体温や体調の確認は行いません。各教室で朝の呼名時に健康観察を行います。各ご家庭におかれましても、登校前の体調の確認をしっかりといただき、体調がすぐれない場合は、無理に登校させないなどの、健康管理へのご協力をよろしくお願ひします。
- 給食における「黙食」の指導は、行いませんが、教室内では、十分な距離が取れないため、前を向いて食べる指導は継続します。(大声を出さない。口に食べ物が入っているときにはしゃべらない。集中して食べる時間を設定するなどの指導をする場合があります。)

### — 地域学校協働本部について —

令和3年度より、学校運営協議会と地域学校協働本部（以下、協働本部）を設置し、コミュニティ・スクールとなり、地域・保護者とともに子供たちを育ててきた本校のよさを生かし、更に高めるように努めてきました。

昨年度は、協働本部を中心に多くの地域・保護者の方の協力を得て、2年生が商店街で体験活動をしたり、6年生が総合的な学習の時間の成果を地域で発表したりするなど、学習活動を豊かなものにすることができました。このように学校の教育活動を充実させるために地域と学校をつないでくださるのが、協働本部です。

本校では、瓜生ひろばの運営、青少協の委員、地域行事のボランティアなど地域の中で活動されている村松さんに協働本部の中心者として地域学校協働活動推進員をお願いしています。今後、村松さんから学校の教育活動に関係するお願ひがあった場合には、「瓜生小の協働本部の村松さん」として、お話を聞いていただき、ご協力をお願ひできればと思っています。よろしくお願ひいたします。